

令和7年度 定時社員総会 議事録

日時 令和7年5月10日(土)14時00分

場所 北海きたえーる研修室

出席者 生島典明、黒田謙二、渋谷研一、田中昌幸、
印藤智一、丸山道博、齊藤幸治、川崎尚子、
家近昭彦、坂本雅春、石崎 賢、笹森恭之、
太刀川建一、村中 伸、平野龍一、奥山 諭
伊山和宏、鎌田勝広、川口智将、田中 淳、
村上仁哉、本川朋一、宇野 要、柴田一徳、
伊藤 学、鈴木和彦、松野清佳、沓沢幸一、
山口隆義、室谷祐子、千葉三郎、二本柳康仁、
西尾亮彦、高田祐貴、棟本直樹、中川裕行、
阿部 豊、大西能正、大門正人、多田吉宏、
佐見洋治、(監事)須田正毅、高橋克徳、
(事務局)嵯峨亘道、倉豊彦(議事録)

1. 開会

33名中27名参加で定足数に達していることが報告された。

2. 会長あいさつ

昨年11月に新法人を設立。新たな一歩を踏み出すにあたって、安定した大会運営、指導者の育成、ジュニアの人材育成などの課題に取り組んでいく。今後も地区協会や各種連盟と連携しながら、バレーボールの普及発展に努めたい。

3. 議長選出

函館協会伊山社員を議長に選任、議事録署名人…伊山社員、千葉社員(小樽)、村上社員(江別)

4. 報告

(1) 社員候補者について

各地区協会及び加盟団体から33名の社員が推薦された。令和7年、8年度の2年間の任期となる。
→質問なしにて承認される。

(2) 令和7年度 事業計画(案)について

○管理運営本部

「各種会議の開催」について、執行委員会は、4月12日に第1回目を開催、2月7日、社員総会は5月10日、意見交換会議は12月6日、理事会は、5月10日、9月13日、12月6日、3月7日の年4回。理事会準備会は4月12日、7月12日、11月8日、2月7日の年4回とする。11月以降はSV・Vリーグが開催されるため、地元開催の日程を見ながら理事会等の会議日程を調整する。「取り組み内容」は、会計執行状況の理事会報告を年2回行う。4月から9月期を12月6日に、4月から3月期を令和8年5月16日で予定

している。令和6年度監査は4月12日。「事業運営委員会」について、SV・Vリーグホームゲームの運営を行っていくことが主要業務になるため、チーム等と調整しながら、各委員会と連携して対応していく。

○競技運営本部

① 競技委員会

「各種会議」について、例年通りの開催を予定。「全国大会の開催日程」について、本年度は、全国社会人の9人制が帯広で行われる。その他に、ビーチバレーボールツアーが北広島で、ソフトバレーフェスティバル（レディース）が函館、大学の東日本インカレが札幌で開催する予定。法人化記念ヴィンテージ大会で、8人制の大会を現在企画中。高校の大会について、昨年度から色々な部分で検討していく。

② 審判委員会

「各種会議」について、4月5日に全部委員長会議を開催。全道伝達講習会では、今年度のルールの改正と取り扱いについて確認・連絡。「講習会」について昨年度は参加者が思うように集まらなかったため、各関連団体においては、参加を促していただければ幸いである。

○強化普及本部

① 強化委員会

「会議の開催」については例年通り。「中学生強化事業」は8月の選考会からスタートする。「高校生強化事業」も6月の選考会からスタートする。「成年」については今年度から代表選考会という新たな形で、7月26日に北翔大学で選考会を開催する。その中から14名を選考する。近日中にHPにアップして進めていきたい。

② 普及委員会

「会議の開催」について4月5日に地区指導普及委員長会議を終えた、「強化交歓大会」について、2年に1度、関東の強豪校を北海道に招いて中学生の強化育成にあたる事業で、6月14、15日に江別市内の中学校を会場に今調整中である。関東地区からは駿台学園の男女を招いている。参加チームについては、5月の中学校の全道大会でベスト8以上のチームに声をかけている。「ビギナーズカップバレーボール大会」という中学校からバレーボールを始めた選手の大会で、経験値の少ない選手が活躍する場を増やそうというもので、各地区協会ですれぞれ順次行っている。このビギナーズカップは、日本バレーボール協会の競技者拡大委員会というところから予算を頂き、北海道中体連の協力を得て実施している。

③ 指導者育成委員会

「日本スポーツ協会公認コーチ1資格取得講習会8月9日、11日」と書いているが、今年度は中止する。4月中にホームページの方で掲載、周知している。

④ 渉外・企画担当理事

特命理事であり、新たにできた部署。バレーボール普及に向けたイベント業務の委託及び渉外、本部及び委員会と連携した事務の執行、企業・協会に向けた動きやホームページの関係などを担当する。→すべて承認される。

(3) 令和7年度 収支予算(案)について

令和7年度収支予算案は、令和7年3月に開催した、旧団体の理事会において説明し、決定いただいたことから、予算編成のポイントに絞って説明する。

一般会計予算は、収益経費を明確にするため「収益会計」と「非収益会計」に分けて計上しており、これら2本の事業費を合わせたものを「一般会計」とした。

収入の部の譲渡収入は、令和6年12月開催の旧団体第3回理事会で議決を得た、旧団体からの資産譲渡として計上。参加料収入は、これまで各委員会が実施してきた、事業への参加料や受講料等について、各委員会会計の中で管理されてきましたが、より透明性を高めるため、道協会の収入として、可視化する形で計上することに見直したうえで、それぞれの見合いの事業に支出することとした。

受託収入は、SV・Vリーグホームゲーム運営受託料等を、その下の物販収入は、Tシャツ・ルールブック・中学ハンドブック販売料を見込み、一般会計の収支合計は9,595万円を計上する。

次に、支出の部の事業費は、これまで各委員会事業費として、各委員会の個別の事業費を積み上げて計上していたが、参加料収入等を財源として、見合いの事業費を計上したもので、可視化により、予算規模が7,267万8,500円と増額となった。

事務局運営費から慶弔費については、一般管理費や委託料、租税公課等であり、最下段に次期繰越金を見込み、支出合計を、収支同額の9,595万円とする。

次に、特別会計は、これまで財政調整基金と強化育成基金の2基金を特別会計として計上していたが、強化育成基金のみを特別会計とし、財政調整基金は、基本財産として資産計上する。

特別会計の収入合計では、12月の第3回理事会において議決を得た資産譲渡として、強化育成基金の繰越額を譲渡収入として見込み、参加料収入として、国スポ少年道外合宿事業と隔年実施の中学生強化交歓大会事業の参加料を見込んだほか、審判委員会及び指導普及委員会からの繰入金収入と雑収入千円を見込み、収入合計2,460万円とするものであります。

一方、支出の部の合計は、参加料収入で見込んだ国スポ少年道外合宿事業と隔年実施の中学生強化交歓大会事業の見合いの支出等を計上し、支出合計483万円、収支差引を1,977万円とする。

→すべて承認される。

(4)令和7年度 一般会計収支補正予算(案)について

一般会計の収入の部「譲渡収入」は、令和6年度決算の繰越額が確定したことや、SV・Vリーグ受託受託料収入の入金が次年度に繰り越されることとなったことから、売掛金として計上し、補正する。

また「協賛金収入」は、武ダGEAD株式会社からの協賛金について補正する。支出の部について、令和6年度決算を踏まえ、「事務局運営費」、「会議費」、「旅費」を補正するほか、国民スポーツ大会成年男女の2枚目のユニフォーム購入費を補正する。特別会計の収入の部について、繰入金収入について、指導普及委員会から、繰り入れ金額の確定に伴い補正する。

→すべて承認される。

5. 議案

(1)会長・副会長の選任(案)

現体制の維持を基本とし、任期を定め、会長に生島氏、副会長に黒田氏、渋谷氏、田中氏を提案する。

→全会一致で選任

(2) 理事の選任(案)

理事に印藤氏、丸山氏、齊藤氏、川崎氏、家近氏、坂本氏、村中氏、石崎氏、上総氏、太刀川氏、
笹森氏、奥山氏、平野氏。監事に高橋氏、須田氏を提案する。

→挙手による採決の結果、全会一致で選任

(3) 監事の選任(案)

監事に高橋氏、須田氏を提案する。

→挙手による採決の結果、全会一致で選任

5. その他

◇クラブ連盟(沓澤)

- ・大会を実施予定
- ・プログラムに掲載する道協会大会役員の役職について、何か見本を頂けると助かる。

◇MRS 登録料について(印藤理事長)

2026年度の改定案が日本協会より提示されている。

6. 閉会

議事録署名人

伊山 和宏

議事録署名人

千葉 三郎

議事録署名人

村上 仁哉